

Outlook Calendarの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様（Outlook Calendar→schedulelink）	連携仕様（schedulelink→Outlook Calendar）	備考
1	返信の依頼	（なし）	（連携対象外）	新規登録時：「返信依頼」として登録します。 更新時：（更新対象外）	
2	転送を許可	（なし）	（連携対象外）	新規登録時：「転送許可」として登録します。 更新時：（更新対象外）	
3	出席者リストを表示しない	（なし）	（連携対象外）	新規登録時：「表示」として登録します。 更新時：（更新対象外）	
4	新しい時間の指定を許可	（なし）	（連携対象外）	新規登録時：「許可」として登録します。 更新時：（更新対象外）	
5	公開方法	公開方法	「空き時間」の場合、公開方法が「予定なし」として読取ります。 「他の場所での作業」の場合、公開方法が「予定なし」として読取ります。 「仮の予定」の場合、公開方法が「予定あり」として読取ります。 「予定あり」の場合、公開方法が「予定あり」として読取ります。 「不在」の場合、公開方法が「外出中」として読取ります。	「予定なし」の場合、公開方法は「空き時間」として登録・更新します。 「予定あり」の場合、公開方法は「予定あり」として登録・更新します。 「外出中」の場合、公開方法は「不在」として登録・更新します。	
6	アラーム	（なし）	（連携対象外）	新規登録時：「15分」（デフォルト値）として登録します。 更新時：（更新対象外）	
7	分類	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
8	非公開	公開可否	非公開設定をそのまま読取ります。	非公開設定ステータスに従い登録・更新します。	
9	カレンダー	（なし）	（連携対象外）	デフォルトの個人カレンダーに登録します。	
10	タイトル	件名	タイトルをそのまま読取ります。	件名をそのまま登録・更新します。	250文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
11	Teams会議	本文	会議のURLをプレーンテキストとして「本文」として読取ります。	新規登録時：「設定しない」として登録します。 更新時：（更新対象外）	
12	出席者	参加者情報	「メールアドレス」を元に参加者情報を読取ります。	参加者情報を登録、更新します。	参加可否の回答情報も併せて読取り及び登録・更新します。
13	タイムゾーン	タイムゾーン	タイムゾーンをそのまま読取ります。	タイムゾーンをそのまま登録・更新します。	
14	開始日時	開始日時	開始日時をそのまま読取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
15	終了日時	終了日時	終了日時をそのまま読取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
16	定期的に実行	繰返し条件	繰返し条件をそのまま読取ります。	繰返し条件をそのまま登録・更新します。	月ごとの繰返し予定で「日」、「週末」または「平日」が設定されている場合は、個別の予定として読取ります。
17	終日	終日設定	終日設定はそのまま読取ります。	終日設定はそのまま登録・更新します。	
18	会議室/場所	場所	会議室/場所をそのまま読取ります。	会議室/場所をそのまま登録・更新します。	
19	対面イベント	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
20	内容	本文	内容がhtml形式の場合は、本文はHTMLとして読取ります。 内容がtext形式の場合は、本文はプレーンテキストとして読取ります。	同期元がhtmlの場合はhtml形式で登録・更新します。 その他の場合はtext形式で登録・更新します。	

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はOutlook Calendarのシステム制約上最大「4」となります。他システムとも同期を行っている場合は適宜並列数を下げて設定してください。
- ・繰り返し予定の中で日付や時間を変更した結果、同じ繰り返し予定内の他の日程と被る場合はOutlook CalendarのAPI制限により変更は反映されません。
- ・対向システム側の「月毎」の繰り返し予定で「日」「平日」または「週末」が指定された予定はOutlook Calendar側には個別の予定として登録されます。

eValueの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様（eValue→schedulelink）	連携仕様（schedulelink→eValue）	備考
1	通常登録／一括登録	（なし）	（連携対象外）	参加者が1名の場合：「通常登録」として登録します。 参加者が2名以上の場合：「一括登録」として登録します。	
2	会議／一括予定	（なし）	（連携対象外）	新規登録時：「予定・会議」として登録します。 更新時：（更新対象外）	
3	開始日時	開始日時	開始日時をそのまま読取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
4	終了日時	終了日時	終了日時をそのまま読取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
5	終日設定	終日設定	終日設定はそのまま読取ります。	終日設定はそのまま登録・更新します。	
6	繰返し条件	繰返し条件	繰返し条件は読取ります。 ただし、「営業日調整」の内容は読取りません。	繰返し条件を登録・更新します。 ただし営業日調整に関する設定は登録・更新しません。 繰返し条件に当てはまらない日の予定は例外日または除外日として登録・更新します。	営業日調整の結果、繰返しルールとは異なる日付になった予定は例外日（スキップされていた場合は除外日）として読取ります。 また、「指定営業日」で設定された月ごとの繰返し予定は、個別の予定として読取ります。
7	複数日設定	日付リスト	複数日設定を読取ります。	複数日設定をそのまま登録・更新します。	
8	件名	件名	件名をそのまま読取ります。 非公開の予定の場合、「* * *」として読取られます。	件名をそのまま登録・更新します。	200バイトを超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
9	CAB連携処理	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
10	場所	場所	場所をそのまま読取ります。 非公開の予定の場合、「* * *」として読取られます。	場所をそのまま登録・更新します。	200バイトを超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
11	内容	本文	内容をプレーンテキストとして読取ります。 非公開の予定の場合、「* * *」として読取られます。	本文をプレーンテキストとして登録・更新します。	2000バイトを超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
12	タイプ	（なし）	（連携対象外）	新規登録時：「通常の予定」として登録します。 更新時：（更新対象外）	
13	公開範囲	公開設定	「公開」の場合、「公開」として読取られます。 「非公開」の場合、「非公開」として読取られます。 「限定公開」の場合、「非公開」として読取られます。	「公開」の場合、「公開」として登録・更新します。 「非公開」の場合、「非公開」として登録・更新します。	「限定公開」の設定はeValueに特有のもののため、連携で更新される際は「非公開」として更新されます。
14	限定公開先	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
15	重要度	重要度	「高」の場合、「高」として読取られます。 「中」の場合、「中」として読取られます。 「低」の場合、「低」として読取られます。	「高」の場合、「高」として登録・更新します。 「中」の場合、「中」として登録・更新します。 「低」の場合、「低」として登録・更新します。	
16	アイコン	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
17	ダブルブッキング	ダブルブッキング許可設定	「許可」の場合、「許可」として読取られます。 「禁止」の場合、「禁止」として読取られます。	「許可」の場合、「許可」として登録・更新します。 「禁止」の場合、「禁止」として登録・更新します。	
18	参加者	参加者情報	参加者情報を読取ります。	参加者情報を登録、更新します。	回答状況は未回答として登録し、更新は行いません。（eValueAPIの仕様制限のため） 複数人スケジュールの場合、対向システムの参加ステータス及びeValue側の参加ステータスはどちらも反映されません。
19	空き状況に表示	公開方法	「通常のスケジュール」の場合、公開方法が「予定あり」として読取ります。 「空き時間」の場合、公開方法が「予定なし」として読取ります。	「予定なし」の場合、「空き時間」として登録・更新します。 「予定あり」・「外出中」の場合、「通常のスケジュール」として登録・更新します。	

eValueの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様（eValue→schedulelink）	連携仕様（schedulelink→eValue）	備考
20	施設・設備	場所	場所として読取ります。 別途、「場所」に設定がある場合は改行を挟んで連結します。	(連携対象外)	
21	添付ファイル	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はeValueのシステム制約上最大値はありませんが、推奨値（4）より大きい値を設定した場合、eValueの動作遅延などが発生する可能性があります。
- ・対向システム側の繰り返しスケジュールの「例外日」はeValueの個別の通常スケジュールとして登録されます。
- ・繰り返しスケジュールを連携先で変更した場合、繰り返しスケジュールから外れる場合があります。
例：eValue スケジューラは繰返しスケジュールを登録する際、営業日を意識して日をずらす機能があります。他スケジューラには同様の機能がないため、
連携先で変更すると繰返しスケジュールから外れ、個別スケジュールになります。
- ・対向システム側で、eValue 側では出来ない設定の同期(例：20日ごと)の繰返し予定を登録して連携しようとした際はエラーとなり連携されません。
- ・「eValueセールスマネジメント機能」の商談登録によって作成されたスケジュールデータについて、対向システム側での変更削除をeValue側に反映することはシステム制約上できません。